

## 各局・区等の課題に対する新市長の方針確認について

### 1. 新市長の方針確認の目的

令和5年度の事務については、4月1日より、議会承認された予算、前市長により決定された新しい組織人事体制と前市長の市政運営方針に基づき、政策執行・事務執行が進められています。

一方、新市長が、4月13日に就任したことから、新市長は、自身の新しい市政運営方針を示し、政策執行・事務執行の内容を見直していくこととなります。とりわけ、就任が新年度の始まりの直後という時期であることから、前市長の方針のもとある程度事務が進んだ後、新市長による方針変更による手戻りが発生するということを防ぐため、新市長は、早い段階で方針決定をする必要があります。

新市長は、就任初日に、局長等への訓示として、「温かい市政」「結果を出す市政」が重要としました。また、そのような市政とするためには、まずは事務の効率化により、時間を生み出すことが必要であるとしてきました。その例として、上位者へ何段階も方針伺いをする内に方針が覆り、手戻りが生じることがしばしばあることから、方針の意思決定方法を見直し、市長が早い段階で方針決定をすることとしました。

このため、新市長は、4月14日から21日までの間、各局・区等のすべてから、課題や重要事項・懸案事項、現時点での対応方針について説明を受け、これに対し、市長の方針を示し、それに基づき事務を進めるよう指示しました。

今後、各局・区等は、この指示事項に対応して、事務を行うこととなります。今回の指示は、限られた時間の中で、早急に方針確認を行うべき事項に絞りました。今回、各局等から説明のなかった事項についても、早めに新市長と意見交換をし、方針決定をしていくこととしています。

このような、市長の早期の判断・方針決定が、事務事業の効率化と、的確な事務執行につながると考えています。

なお、方針決定とは、ある事業を「やる・やらない」という意思決定だけではなく、「より精緻な分析を行うこと」という意思決定も含まれると考えます。新市長は、「開かれたわかりやすい市政」「根拠と共感に基づく政策執行」を重視しています。データなどを用いた分析と的確な論理展開により、政策決定の根拠をわかりやすく示し、「なるほど、それなら理解できる」との社会の共感を得て、政策を執行するというものです。このため、いくつかの事項については、「より精緻な分析」を求める指示を行っています。

## 2. 指示を行った事項

新市長からの指示事項は「資料1-2」のとおりです。

また、「清水庁舎整備と清水駅東口のサッカースタジアム構想」については、資料2に指示事項をより詳しく示します。

さらに、資料3として、「清水庁舎整備の方向」についての考え方を示します。

担当  
総務局 総務課  
電話:221-1004